

各位

人工呼吸器・ECMO net 講習会が各地で開催されておりますが、東京を中心として、新規感染患者が増加しております。そのため、本講習会でも感染対策としての一定の指針を作成しました。本指針は ECMO net としてのものであり、実際の開催に関しましては、各都道府県の担当者および各都道府県のガイドラインや開催施設の利用ガイドライン等も踏まえて、より安全な感染対策を講じた上で開催を決定するように準備してください。

各開催地で、多数のメディアが取材に訪れております。逆に言えば、講習会の様子がそのまま全国に配信され得るため、色々と揚げ足を取られたり、ご批判を受ける可能性があります。そのため感染対策は十二分に注意を払うようにご注意ください。

1. 講習会会場が医療機関の場合には、会場と医業活動範囲を分離

開催医療機関の担当者は、病院と講習会会場の位置関係、動線を十分に確認、解析をしたうえで、可能な限り、医業活動とは接点がないような場所を選定してください。

2. 講習会会場へのアクセス経路の限定

外部から当該医療機関に入館後には、医業活動範囲と可能な限り分離された経路で講習会会場に入室可能な動線を確保してください。また適宜、制限区域を設定して通行止めの掲示をおこなっても構いません。いずれにしても講習会関係者と病院スタッフ、患者との不用意な接触を避ける工夫を最大限おこなってください。

3. 講習会会場に入室時には検温を行なってください。

この際には非接触型の体温計が望ましいです。ただ、現時点では体温計の購入が困難であり、開催担当施設が準備してください。37.5℃以上の場合や、問診で体調不良を認めた場合などは講習会に参加できません。

4. マスクとフェイスシールド、手袋は受講生、スタッフが持参する。フェイスシールドが苦痛の場合にはゴーグルでも構いません。手袋もどのようなタイプでも問題なく、プラスチック手袋で十分です。

➡ECMOnet としては、ECMO net の関係者用（インストラクター）のマスク、フェイスシールド、手袋は準備する予定ですが、8月1日、2日には間に合いませんので、各自で準備してください。また、ECMOnet で準備するフェイスシールドは消毒、洗浄して使いまわす予定です。これらは ECMO 機材と一緒に各講習会場へ届くように手配します。

また、各業者、メディアには自前で準備するように事前に周知してください。 water drill、シナリオ会場内には手袋を捨てるビニール袋（回収袋）を設置してください。

5. アルコール消毒

ジェルタイプ (250ml) 複数個を ECMOnet が準備するので会場内の数か所に配置してください。これも 8 月 1 日、2 日には間に合いませんので、各担当者が準備してください。

6. 換気

換気 (30 分に 1 回) を頻回に行うことを徹底してください。講義、実技の時も会場のドアは開放して窓もできるだけ解放された状況で行うようにしてください。適宜、開催会場の利用ガイドラインを遵守してください。厚労省のガイドラインにも記載があります。

札幌での様子です

